

## せんだい都市交通プラン

### モニタリング指標の状況

#### 【モニタリング指標初期値】

※プラン初年度(令和3年度)実績

## 目 次

1. モニタリング指標の設定.....	1
2. モニタリング指標の状況一覧.....	2
3. 各モニタリング指標の状況.....	4
方針1 質の高い公共交通を中心とした都市交通の充実.....	4
方針2 賑わい創出に向けた都心交通環境の再構築.....	15
方針3 多様な都市活動を支える交通政策の推進.....	18

# 1. モニタリング指標の設定

方針	指標	指標選定理由	使用データ	調査頻度	望ましい方向	
<b>方針1 質の高い公共交通を中心とした都市交通の充実</b>						
(1) 持続可能な公共交通ネットワークの構築	・公共交通別（鉄道、バス、地域交通）利用者満足度	・各施策の総合的な成果として、市民の公共交通に対する満足度を確認する。	・公共交通別利用者満足度調査	毎年	+	
	・バス幹線区間のバス利用者数	・バス幹線区間を走行する路線バスの利用状況を確認する。	・仙台市交通局資料（icscaデータ等）、宮城交通資料	毎年	+	
	・フィーダーバスの利用者数	・鉄道駅と地域をつなぐ交通の利用状況を確認する。	・仙台市交通局資料（icscaデータ等）、宮城交通資料	毎年	+	
	・JR在来線・地下鉄利用者数	・鉄道が移動の基軸として、鉄道利用が定着しているかを確認する。	・各駅の乗車人員（JR東日本・仙台市交通局）	毎年	+	
	(2) 公共交通のさらなる利用しやすさの向上	・路線バスの一便当たり利用者数	・市民意識の醸成等による路線バスの利用状況の変化を確認する。	・仙台市交通局資料（icscaデータ等）、宮城交通資料	毎年	+
		・パーク＆ライド駐車場利用率	・鉄道駅が交通の拠点として、多様な移動手段を支えているかを確認する。	・仙台市資料	毎年	+
	(4) モビリティ・マネジメント等の実施による公共交通の利用促進	・どこバス仙台のアクセス数	・わかりやすい情報媒体として利用されているかを確認する。	・仙台市交通局資料	毎年	+
・キャッシュレス決済乗車券利用率		・利用しやすい決済方法として活用されているかを確認する。	・仙台市交通局資料（icscaデータ等）	毎年	+	
・公共交通の利用比率 （公共交通利用者数/市の昼間人口）		・公共交通の適切な利用が展開されているかを確認する。	・【鉄道】各駅の乗車人員（JR東日本・仙台市交通局） ・【バス】仙台市交通局資料、宮城交通資料 ・【人口】国勢調査	5年ごと	+	
(3) みんなで育てる地域交通	・地域交通の導入地区数	・地域交通の導入状況を確認する。	・仙台市資料	毎年	+	
	・地域交通利用者数	・地域交通の運行、維持につながる利用になっているかを確認する。	・仙台市資料	毎年	+	
<b>方針2 賑わい創出に向けた都心交通環境の再構築</b>						
(1) 賑わいや回遊性の向上に資する交通環境づくり	・都心内歩行者数	・都心の賑わい状況として、商店街の歩行状況により確認する。	・仙台市内中心部商店街の通行量調査（仙台商工会議所）	毎年	+	
	・定禅寺通・青葉通・宮城野通の歩行者数	・都心内の徒歩による回遊状況を確認する。	・道路交通等現況調査（仙台市）	3年ごと	+	
	・都心内の歩行者の滞在時間	・都心内の徒歩による回遊状況を確認する。	・携帯電話GPS等の解析	5年ごと	+	
	・都心内の小売業年間商品販売額	・都心内における生活サービスに関する事業活動の状況を確認する。	・仙台市統計書	5年ごと	+	
	・コミュニティサイクル年間利用回数	・都心内の移動を担うコミュニティサイクルの利用状況を確認する。	・㈱ドコモ・バイクシェア資料	毎年	+	
(2) 多様な交通が安全・安心して共存するまちの交通環境づくり	・路上駐車状況	・都心内の道路空間（車道）の安全性が確保されているかを確認する。	・道路交通等現況調査（仙台市）	3年ごと	-	
<b>方針3 多様な都市活動を支える交通政策の推進</b>						
(1) 新技術等を活用した交通システムの促進	・新技術を活用した実証実験の実施件数	・都市交通の向上のための取組みとして、新技術を活用した実証実験の実施状況を確認する。	・仙台市資料	毎年	+	
(2) 活発な都市経済・広域的な交流を支える交通環境の形成	・主要渋滞箇所数	・経済的な損失を生む交通渋滞の発生状況を確認する。	・宮城県渋滞対策協議会資料	毎年	-	
	・都市計画道路の整備率	・都市の骨格を形成する都市計画道路の整備状況を確認する。	・仙台市資料	毎年	+	
	・都心部の交通量比率 （現況都心部交通量/H6年度都心部交通量）	・都心部の交通量の減少により、通過交通が抑制されているかを確認する。	・道路交通等現況調査（仙台市）	3年ごと	-	
	・仙台駅新幹線利用者数	・広域交通ネットワークとして、新幹線によるアクセス状況を確認する。	・各駅の乗車人員（JR東日本）	毎年	+	
	・空港利用者数	・広域交通ネットワークとして、航空機によるアクセス状況を確認する。	・仙台市観光統計基礎データ	毎年	+	
	・高速バスの行先別便数	・広域交通ネットワークとして、高速バスの広域ネットワーク状況を確認する。	・高速バス時刻表_高速バス各社HP	毎年	+	
	・るーぶる仙台利用者数	・市内の観光地までの主要なアクセス手段として、観光シティーバス利用状況を確認する。	・仙台市観光統計基礎データ	毎年	+	
(3) 安全・安心な交通環境の形成	・市内の交通事故件数	・市内の移動において、安全性が高まっているかを確認する。	・仙台市統計書	毎年	-	
	・歩道のバリアフリー化率	・移動の円滑化及び安全、安心な交通環境に寄与するバリアフリー化の推進状況を確認する。	・仙台市資料	毎年	+	
	・自転車の事故件数	・自転車の移動において、安全性が高まっているかを確認する。	・仙台市統計書（仙台市）	毎年	-	

## 2. モニタリング指標の状況一覧（令和3年度実績）

「せんだい都市交通プラン」策定初年度(令和3年度)の実績を初期値として、計画期間(令和12年度：2030年度まで)において毎年度モニタリング指標を整理し、施策の効果を把握することとしている。

※今回は初期値の確認であるものの、参考までに前プランの期間における値も掲載

方針	指標	参考 (年度記載のない項目は 令和2年度の値)	令和3年度実績	使用データ	調査頻度	望ましい方向	参考 (前プラン期間 との比較)		
<b>方針1 質の高い公共交通を中心とした都市交通の充実</b>									
(1)	持続可能な公共交通ネットワークの構築	・公共交通別（鉄道、バス、地域交通） 利用者満足度	公共交通全体 53.9% 〔令和元年度〕 ※公共交通別は令和3年度より実施	鉄道 80.2%	・公共交通別利用者満足度調査	毎年	+		
				バス：53.3%				+	
				地域交通：86.5%					+
	(2)	公共交通のさらなる利用しやすさの向上	・バス幹線区間のバス利用者数	2,532万人/年 (69,380人/日)	2,760万人/年 (75,624人/日)	・仙台市交通局資料（icscaデータ等）、宮城交通資料等	毎年	+	
			・フィーダーバスの利用者数	889万人/年 (24,347人/日)	951万人/年 (26,047人/日)	・仙台市交通局資料（icscaデータ等）、宮城交通資料等	毎年	+	+
	(4)	モビリティ・マネジメント等の実施による 公共交通の利用促進	・JR在来線・地下鉄利用者数	JR在来線：154,027人/日 地下鉄：209,392人/日	JR在来線：165,182人/日 地下鉄：225,909人/日	・各駅の乗車人員（JR東日本・仙台市交通局）	毎年	+	+
			・路線バスの一便当たり利用者数	21.5人/便	23.4人/便	・仙台市交通局資料（icscaデータ等）、宮城交通資料等	毎年	+	+
	(3)	みんなで育てる地域交通	・パーク&ライド駐車場利用率	84.76%	84.90%	・仙台市資料、宮城交通資料	毎年	+	横ばい
			・どこバス仙台のアクセス数	9,330件/日	9,945件/日	・仙台市交通局資料、宮城交通資料等	毎年	+	+
			・キャッシュレス決済乗車券利用率	94.49%	94.41%	・仙台市交通局資料（icscaデータ等）等	毎年	+	横ばい
・公共交通の利用比率 (公共交通利用者数/市の昼間人口)			—	38.9%〔令和2年度〕 公共交通利用者数：448,001人/日 昼間人口：1,152,192人	・【鉄道】各駅の乗車人員（JR東日本・仙台市交通局） ・【バス】仙台市交通局資料、宮城交通資料等 ・【人口】国勢調査	5年ごと	+		
(3)	みんなで育てる地域交通	・地域交通の導入地区数	4地区	4地区	・仙台市資料	毎年	+	増減なし	
		・地域交通利用者数	5,248人/年	8,006人/年	・仙台市資料	毎年	+	+	
<b>方針2 賑わい創出に向けた都心交通環境の再構築</b>									
(1)	賑わいや回遊性の向上に資する 交通環境づくり	・都心内歩行者数	平日：30,973人/日 休日：39,216人/日	平日：29,301人/日 休日：31,979人/日	・仙台市内中心部商店街の通行量調査（仙台商工会議所）	毎年	+	-	
		・定禅寺通・青葉通・宮城野通の歩行者数	29,275人/日 〔平成29年度〕	26,303人/日	・道路交通等現況調査（仙台市）	3年ごと	+	-	
		・都心内の歩行者の滞在時間	—	※令和7年度実施予定	・携帯電話GPS等の解析 ※中間年度(令和7年度)に業務委託を行い令和3・7年度を比較・解析予定	5年ごと	+		
		・都心内の小売業年間商品販売額	—	※令和4年11月時点において 令和3年経済センサス未公表	・仙台市統計書	5年ごと	+		
		・コミュニティサイクル年間利用回数	641千回	817千回	・(株)ドコモ・バイクシェア資料	毎年	+	+	
(2)	多様な交通が安全・安心して共存するまち の交通環境づくり	・路上駐車状況	17.9台/100m・12時間 〔平成29年度〕	16.8台/100m・12時間	・道路交通等現況調査（仙台市）	3年ごと	-	-	

方針	指標	参考 (年度記載のない項目は 令和2年度の値)	令和3年度実績	使用データ	調査頻度	望ましい方向	参考 (前プラン期間 との比較)	
方針3 多様な都市活動を支える交通政策の推進								
(1)	新技術等を活用した交通システムの促進	・新技術を活用した実証実験の実施件数	—	P.17~19参照	・仙台市資料	毎年	+	
(2)	活発な都市経済・広域的な交流を支える交通環境の形成	・主要渋滞箇所数	120箇所	120箇所	・宮城県渋滞対策協議会資料	毎年	-	増減なし
		・都市計画道路の整備率	85.8% 〔整備済延長：369.39km 計画延長：430.4km〕	85.8% 〔整備済延長：369.39km 計画延長：430.4km〕	・仙台市資料	毎年	+	増減なし
		・都心部の交通量比率 (現況都心部交通量/H6年度都心部交通量)	80.7% 〔平成29年度〕	78.20%	・道路交通等現況調査(仙台市)	3年ごと	-	
		・仙台駅新幹線利用者数	12,422人/日	14,494人/日	・各駅の乗車人員(JR東日本)	毎年	+	+
		・空港利用者数	122万人	165万人	・仙台市観光統計基礎データ	毎年	+	+
		・高速バス便数	平日：835便/日 休日：787便/日	平日：835便/日 休日：779便/日	・高速バス時刻表_高速バス各社HP	毎年	+	横ばい
		・るーぶる仙台利用者数	202,049人	206,898人	・仙台市観光統計基礎データ	毎年	+	+
(3)	安全・安心な交通環境の形成	・市内の交通事故件数	2,079件	2,224件	・仙台市統計書	毎年	-	+
		・自転車の事故件数	400件	384件	・仙台市統計書	毎年	-	-
		・歩道のバリアフリー化率	50.5%	52.6%	・仙台市資料	毎年	+	+

### 3. 各モニタリング指標の状況 ※指標の右側に望ましい方向性【+、-】を記載

#### 方針1 質の高い公共交通を中心とした都市交通の充実

- (1) 持続可能な公共交通ネットワークの構築
- (2) 公共交通のさらなる利用しやすさの向上
- (4) モビリティ・マネジメント等の実施による公共交通の利用促進

#### 指標 公共交通別（鉄道、バス、地域交通）利用者満足度【+】

選定理由：各施策の総合的な成果として、市民の公共交通に対する満足度を確認する。

#### ■鉄道(地下鉄・JR)

令和3年度における、市内の鉄道（地下鉄・JR）のサービス全般の満足度は、80.2%となっている。

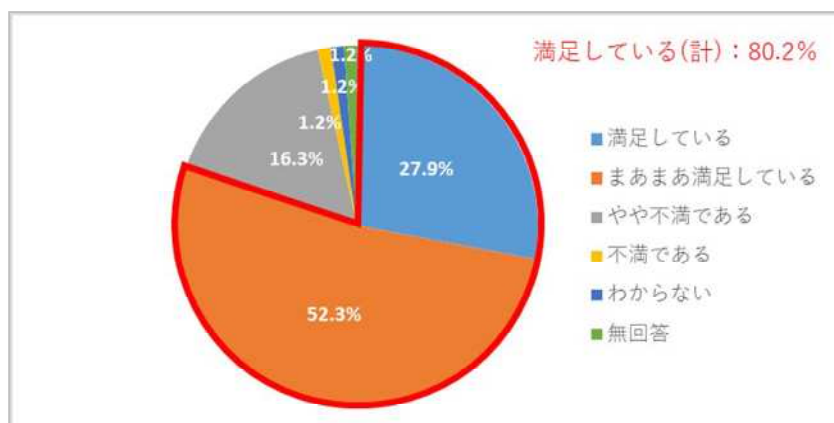


図1 市内の鉄道（地下鉄・JR）に関する満足度（令和3年度）

資料：公共交通推進に関するアンケート調査（仙台市公共交通推進課・交通政策課）より作成

※1：令和3年度より調査開始した市政モニターアンケートにおいて、「ふだん、市内の鉄道（地下鉄・JR）を利用する」と回答された方（N=86）のうち、サービス全般（運行本数、ダイヤ、運賃、利用しやすさ、快適性等）について「満足している+まあまあ満足している」と回答した割合を満足度として評価。

※2：参考（自由記述意見の抜粋）

「満足・まあまあ満足」を選んだ理由

- ・時刻通りの運行、運行間隔、運行本数。
- ・地下鉄駅の案内表示が分かりやすくなってきている。
- ・JRは自然災害の多いこの地で、保守を含め大変な努力をされている。
- ・コロナ対策をしていただき、安心して利用している。

「不満・やや不満」を選んだ理由

- ・運賃が高い。
- ・エレベーターやエスカレーターの無い箇所では、階段の上り下りが大変。
- ・人身事故による遅延を防ぐ工夫をしてほしい。

## ■バス

令和3年度における、市内のバスのサービス全般の満足度は、53.4%となっている。

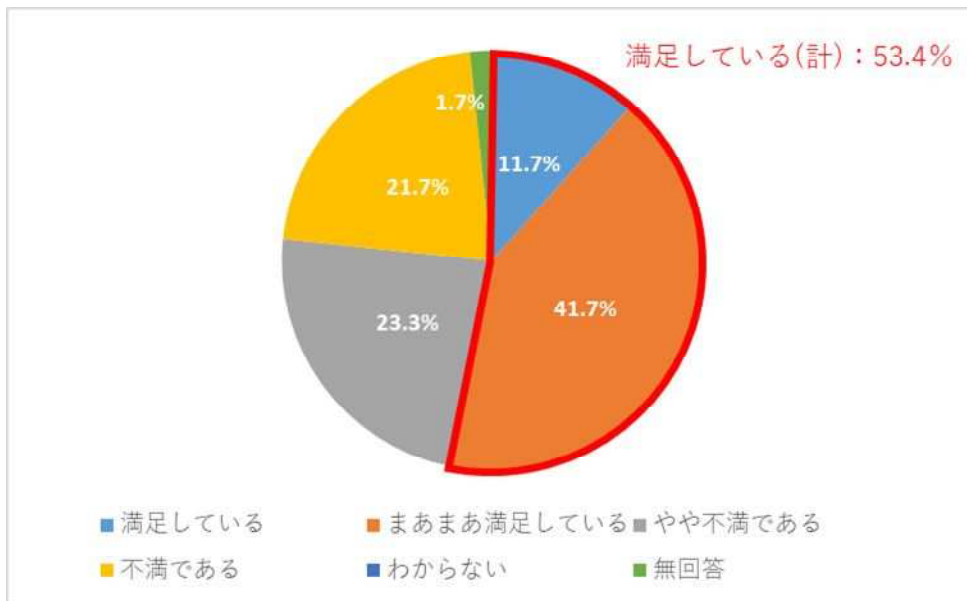


図2 市内のバスに関する満足度（令和3年度）

資料：公共交通推進に関するアンケート調査（仙台市公共交通推進課・交通政策課）より作成

※1：令和3年度に調査開始した市政モニターアンケートにおいて、「ふだん、市内のバスを利用する」と回答された方（N=60）のうち、サービス全般（運行本数、ダイヤ、運賃、利用しやすさ、快適性等）について「満足している+まあまあ満足している」と回答した割合を満足度として評価。

※2：参考（自由記述意見の抜粋）

「満足・まあまあ満足」を選んだ理由

- ・路線がきめ細かく利用しやすい。
- ・運行時間・運行本数とも適当。
- ・運転手の対応（運転技術、接客態度等）に満足。
- ・どこバス仙台が便利。

「不満・やや不満」を選んだ主な理由

- ・発着の遅れが生じやすい。
- ・年々減便され困っている。
- ・複数のバスの発着時刻が近い場合があるため、調整の上分散してほしい。
- ・停留所との段差や間隔が大きい箇所があり、乗降時に不安を感じる場合がある。
- ・朝晩の渋滞対策として、バス専用レーンを増設してほしい。

## ■地域交通

令和3年度における、地域交通のサービス全般の満足度は、86.5%となっている。

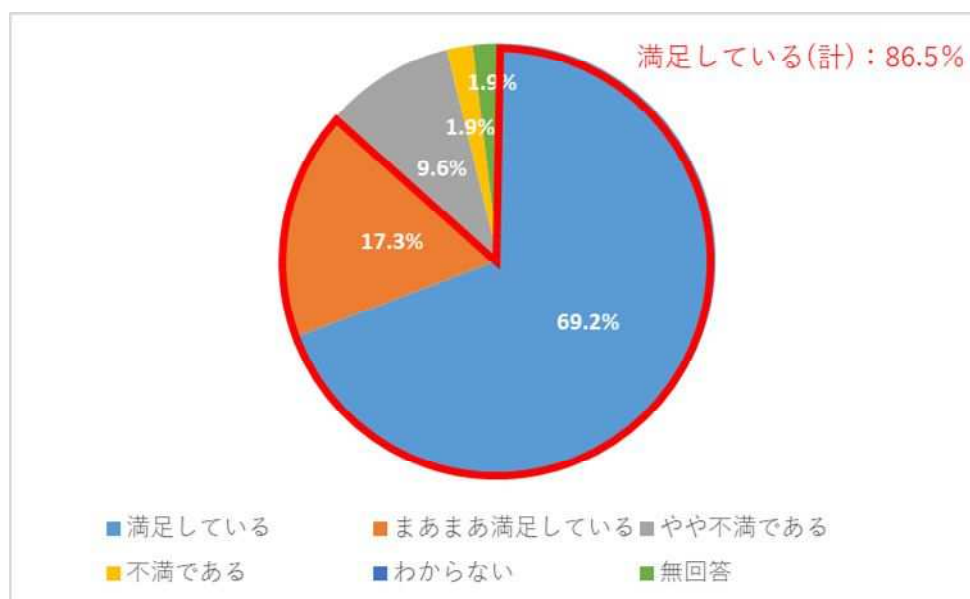


図3 地域交通に関する満足度（令和3年度）

資料：地域交通に関するアンケート調査（仙台市地域交通推進課）より作成

※1：令和3年度より調査開始した地域交通利用者へのアンケート（R3.11下旬～R4.1下旬、N=52）のうち、地域交通のサービス全般（運行形態、運賃、利用しやすさ、快適さ等）について「満足している+まあまあ満足している」と回答した割合を満足度として評価。

※2：参考（自由記述意見の抜粋）

「満足・まあまあ満足」を選んだ理由

- ・自宅のすぐ近くから乗れる。
- ・時間通りに来てくれる。
- ・料金が安い。
- ・運転手が親切。

「不満・やや不満」を選んだ理由（抜粋）

- ・土日祝日も運行してほしい。
- ・もう少し運行範囲を広げてほしい。



(参考) 公共交通全体

令和元年度調査において、「鉄道やバスなどの公共交通を中心とする利便性の高い交通体系づくり」の取組みに対し、「評価する」と答えた方の割合は53.9%となっている。

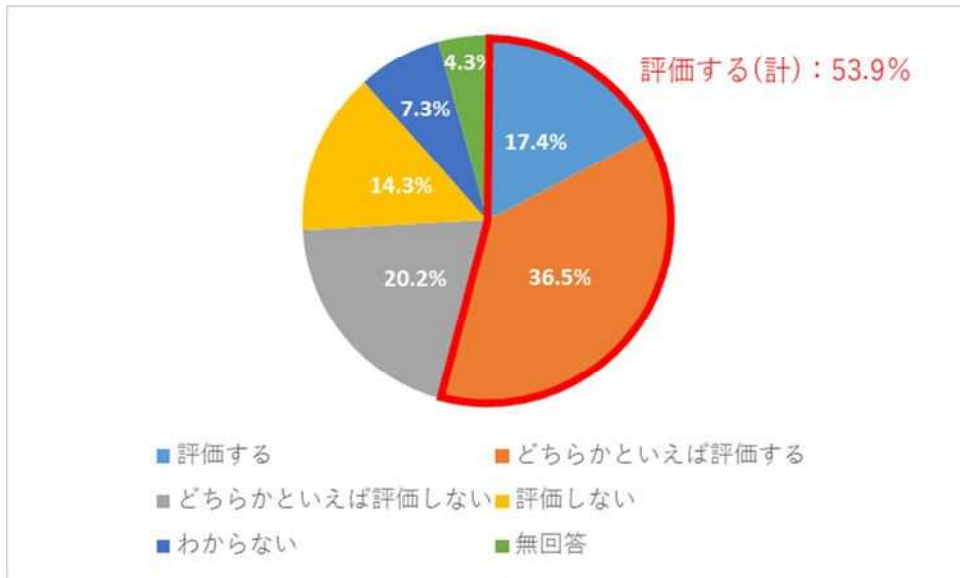


図 4 公共交通に対する市民満足度（令和元年度）

資料：施策目標に関する市民意識調査報告書（仙台市政策企画課）より作成

※1：令和元年度に実施した「施策目標に関する市民意識調査報告書（仙台市政策企画課）」より  
(N=2,018)

※2：令和2年度・3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、調査を実施していない。

**指 標** バス幹線区間のバス利用者数【+】

選定理由：バス幹線区間を走行する路線バスの利用状況を確認する。

仙台市地域公共交通計画（令和4年3月策定）で設定したバス幹線区間（バス準幹線区間含む）を走行する路線バスの1日あたりの平均利用者数は、増加しており、望ましい方向に進んでいる。

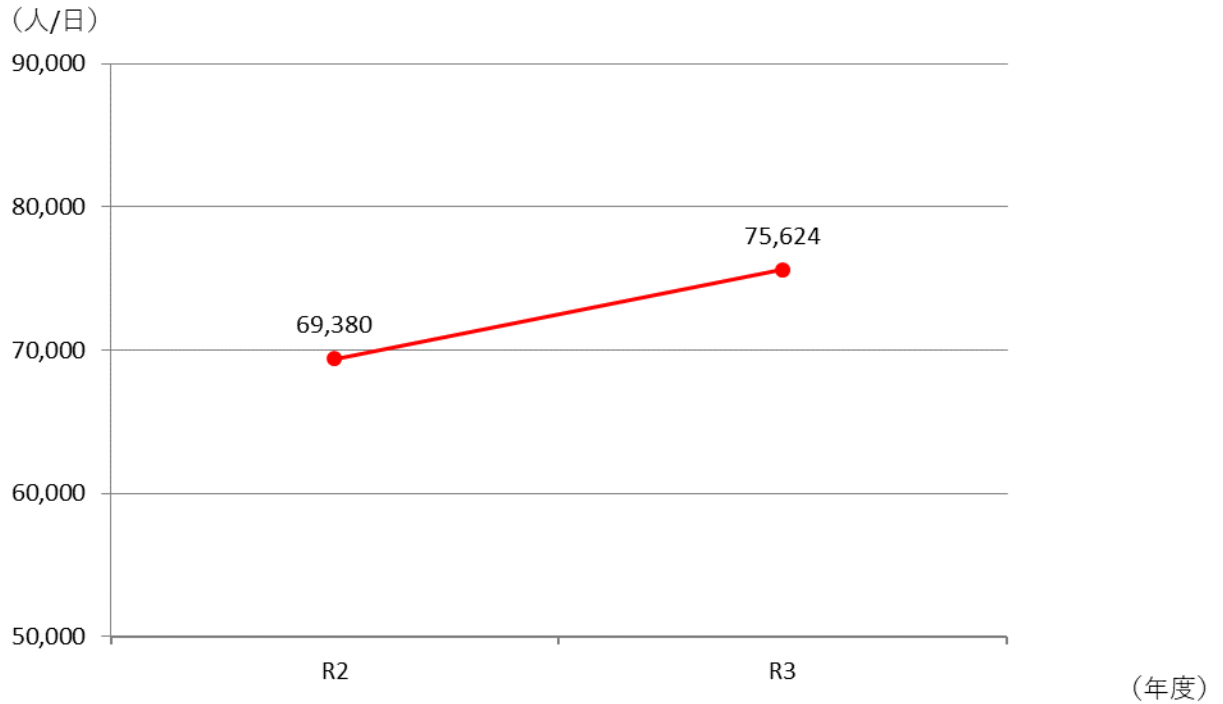


図 5 バス幹線区間・準幹線区間のバス利用者数の推移

資料：仙台市交通局・宮城交通㈱資料より作成

**指 標**      **フィーダーバスの利用者数【+】**

選定理由：鉄道駅と地域をつなぐ交通の利用状況を確認する。

仙台市地域公共交通計画（令和4年3月策定）で設定したフィーダー区間を走行する路線バスの1日あたりの平均利用者数は、増加しており、望ましい方向に進んでいる。

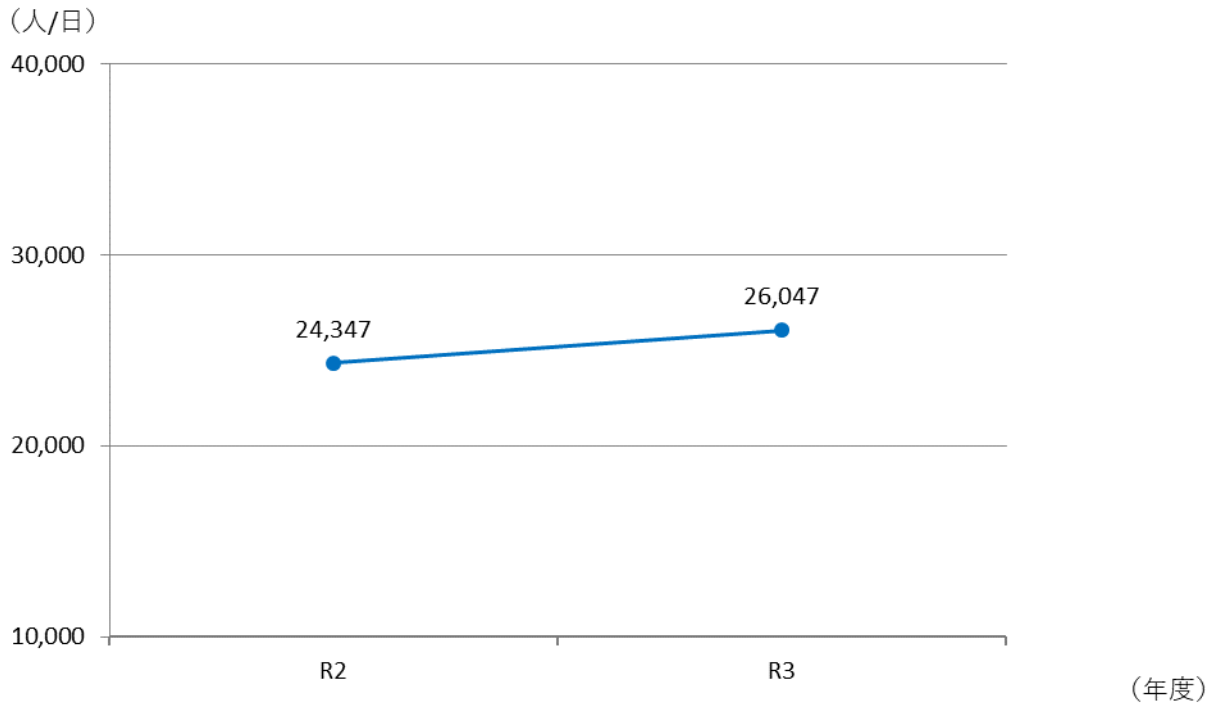


図 6 フィーダー区間のバス利用者数の推移

資料：仙台市交通局・宮城交通㈱・㈱ミヤコーバス・愛子観光バス㈱資料より作成

**指 標** J R 在来線・地下鉄利用者数【+】

選定理由：鉄道が移動の基軸として、鉄道利用が定着しているかを確認する。

■JR 在来線

J R 在来線の 1 日あたりの平均利用者数は、増加しており、望ましい方向に進んでいる。

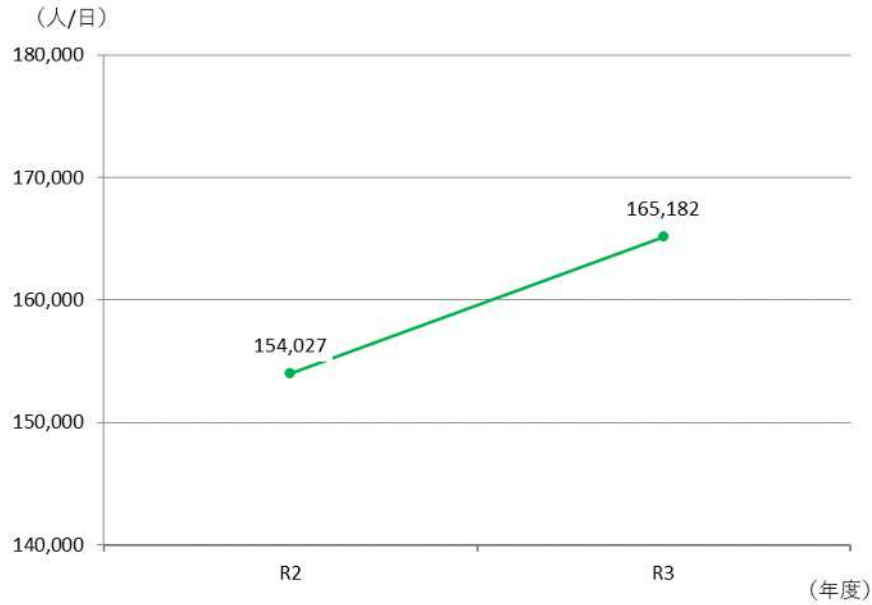


図 7 J R 在来線利用者数の推移

資料：東日本旅客鉄道株資料より作成

■地下鉄

地下鉄の 1 日あたりの平均利用者数は、増加しており、望ましい方向に進んでいる。

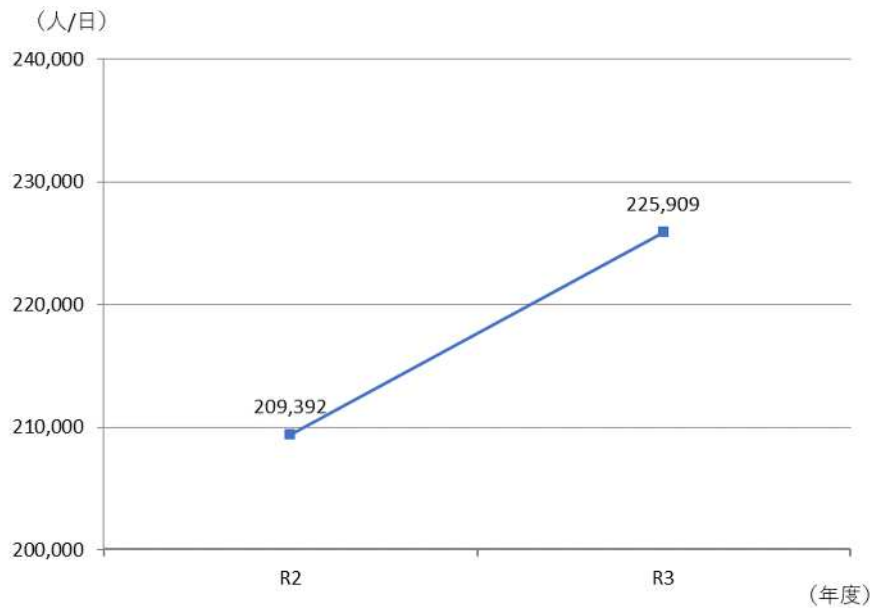


図 8 地下鉄利用者数の推移

資料：仙台市交通局資料より作成

**指 標** 路線バスの一便あたり利用者数【+】

選定理由：市民意識の醸成等による路線バスの利用状況の変化を確認する。

路線バスの一便あたり利用者数は、増加しており、望ましい方向に進んでいる。

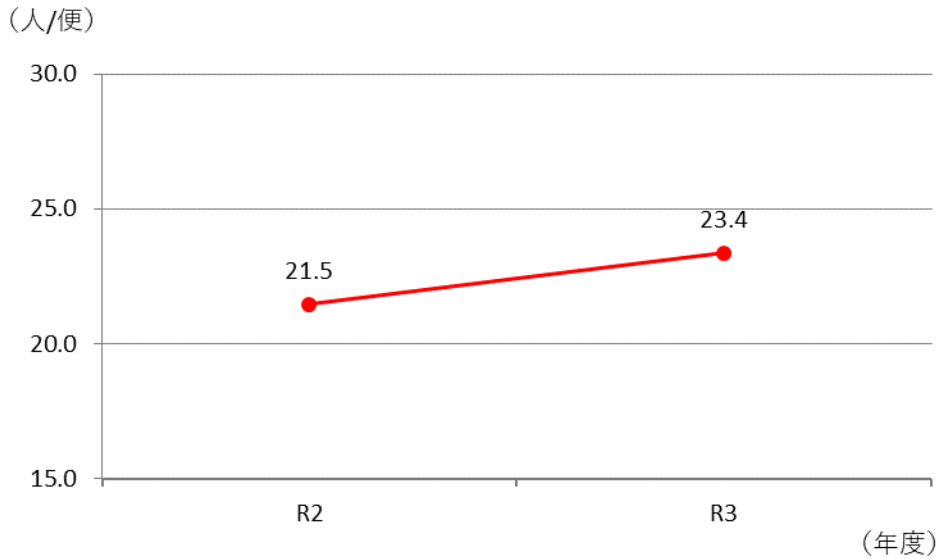


図 9 路線バスの一便あたり利用者数の推移

資料：仙台市交通局・宮城交通(株)・(株)ミヤコーバス・愛子観光バス(株)・(株)タケヤ交通資料より作成

※仙台市交通局、宮城交通(株)、(株)ミヤコーバス、愛子観光バス(株)、(株)タケヤ交通が運行する路線バスの年間利用者数の合計を、年間運行便数の合計で除して算出。

**指 標**    **パーク&ライド駐車場利用率【+】**

選定理由：鉄道駅等が交通の拠点として、多様な移動手段を支えているかを確認する。

パーク&ライド駐車場の利用率は、横ばいである。

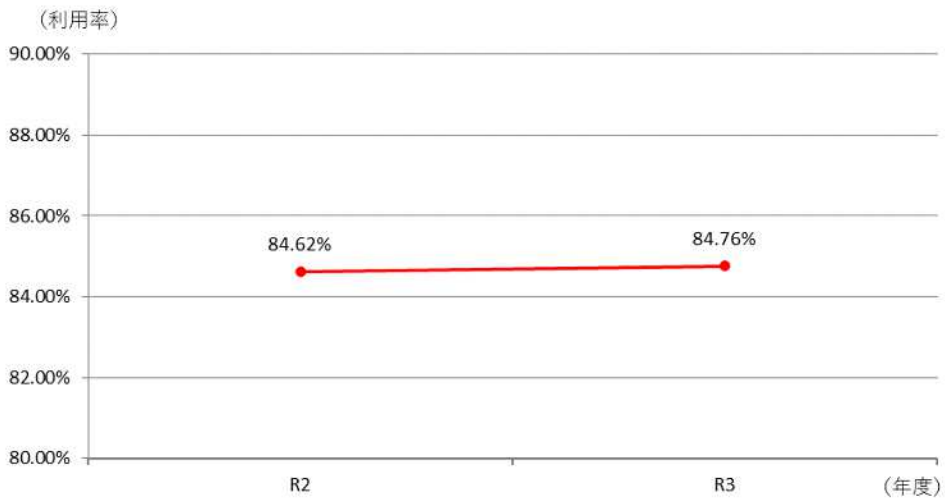


図 10 パーク&ライド駐車場利用率の推移

資料： 仙台市公共交通推進課資料より作成

- ※1 対象のパークアンドライド駐車場：①荒井駅前駐車場  
②八木山動物公園駅駐車場  
③ララガーデン長町駐車場  
④仙台市交通局霞の目営業所駐車場  
⑤泉区役所北側駐車場  
⑥泉図書館駐車場  
⑦七北田公園第一駐車場  
⑧イオン仙台中山店駐車場

- ※2 駐車可能台数：上記駐車場の合計値 702 台  
利用台数：上記駐車場の毎月 1 日における契約台数の年間平均  
〔令和 2 年度は 594 台、令和 3 年度は 595 台〕

**指 標** どこバス仙台のアクセス数【+】

選定理由：わかりやすい情報媒体として利用されているかを確認する。

どこバス仙台のアクセス数は、増加しており、望ましい方向に進んでいる。

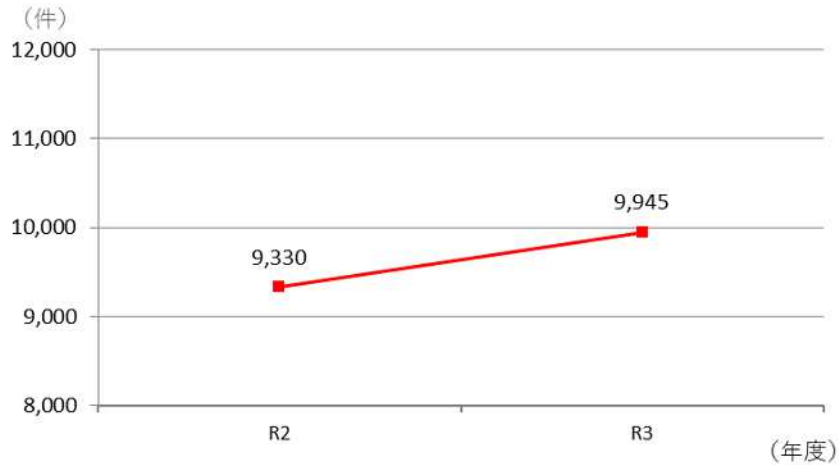


図 11 どこバス仙台のアクセス数の推移

資料：仙台市交通局・宮城交通㈱資料より作成

※仙台市交通局および宮城交通の「どこバス仙台」トップページアクセス数の合計

**指 標** キャッシュレス決済乗車券利用率【+】

選定理由：わかりやすい情報媒体として利用されているかを確認する。

キャッシュレス決済乗車券利用率は、横ばいである。

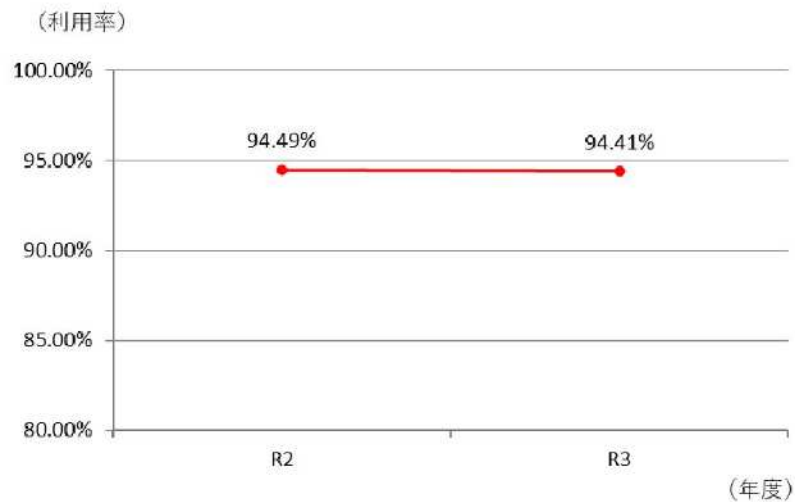


図 12 キャッシュレス決済乗車券利用率の推移

資料：仙台市交通局・宮城交通㈱・㈱ミヤコーバス資料より作成

※仙台市交通局・宮城交通㈱・㈱ミヤコーバスが運行する路線バスの年間利用者数に対する IC カード利用者数の割合

### (3) みんなで育てる地域交通

#### 指 標 地域交通の導入地区数、地域交通利用者数【+】

選定理由：地域交通の導入状況を確認する。

地域交通の運行、維持につながる利用になっているかを確認する。

地域交通の導入地区（試験運行中の地区含む）数の増減は無いが、地域交通利用者数は増加となっており、望ましい方向に進んでいる。

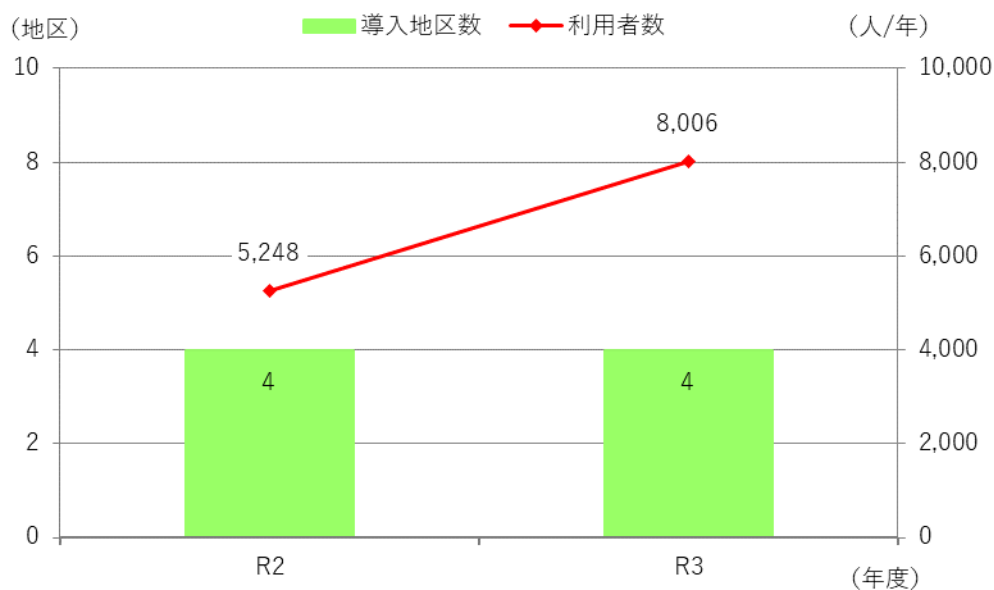


図 13 地域交通の導入地区数・利用者数の推移

資料：仙台市地域交通推進課資料より作成

※1：試験運行中の地区を含む。

※2：地域交通の導入経過（令和3年度まで）

令和2年4月 坪沼地区試験運行開始（2回試験運行実施）

令和2年8月 新川地区試験運行開始（2回試験運行実施）

令和3年1月 秋保地区試験運行開始

令和3年4月 燕沢地区本格運行開始（平成30年から3回試験運行実施）



## 方針2 賑わい創出に向けた都心交通環境の再構築

### (1) 賑わいや回遊性の向上に資する交通環境づくり

#### 指標 都心内歩行者数【+】

選定理由：都心の賑わい状況として、商店街の歩行状況により確認する。

都心内歩行者数は、望ましい方向は増加であるが、令和2年度より減少している。

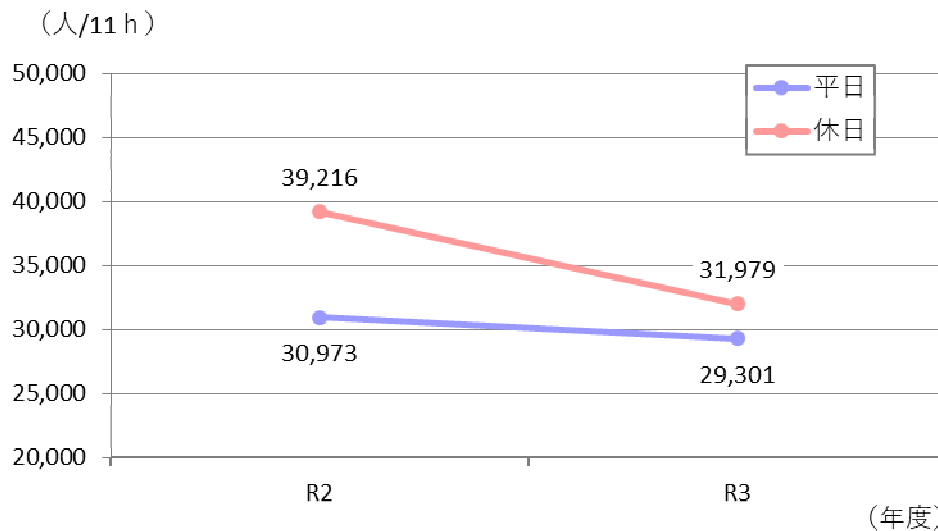


図14 都心内歩行者数の推移

資料：仙台市内中心部商店街の通行量調査結果（仙台市・仙台商工会議所）より作成

※1：仙台市内中心部商店街の通行量調査結果（仙台市・仙台商工会議所）における、「仙台駅・東西自由通路（東口改札前）」、「ペDESTリアンデッキ S-PAL 前」、「松澤蒲鉾店前（名掛丁）」、「三瀧不動尊・三原堂前（クリスロード）」、「藤崎前（おおまち）」、「ギャラリー花雅前（サンモール）」、「大井宝石店・フォーラス前（一番町一番街）」、「ナカガワ前（一番町四丁目）」の8地点平均

※2：[令和2年度調査]

調査実施日：[平日] 令和2年10月23日(金)

[休日] 令和2年10月25日(日)

・例年5月に調査を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期した。

・令和2年10月25日(日)に第38回全日本大学女子駅伝対校選手権大会開催

[令和3年度調査]

調査実施日：[平日] 令和3年5月28日[金]

[休日] 令和3年5月30日[日]

なお、令和3年3月18日～6月13日まで「宮城県・仙台市緊急事態宣言」発令

**指 標** 定禅寺通・青葉通・宮城野通の歩行者数【+】

選定理由：都心内の徒歩による回遊状況を確認する。

定禅寺通・青葉通・宮城野通の歩行者数は、望ましい方向は増加であるが、新型コロナウイルス感染症の影響等により減少している。



図 15 定禅寺通・青葉通・宮城野通の歩行者数

資料：道路交通等現況調査（仙台市交通政策課）より作成

※調査地点が異なるため、下記区間の調査地点における歩行者数の平均値を採用（平日）

**【平成 29 年度調査】**

定禅寺通：晩翠通(春日町交差点)～東二番丁通

青葉通：西公園通～駅前通

宮城野通：東八番丁通(仙台ガーデンパレス・TBCハウジングステーション付近)～榴ヶ岡駅付近

**【令和 3 年度調査】**

定禅寺通：西公園通(市民会館前交差点)～東二番丁通

青葉通：西公園通～駅前通

宮城野通：東七番丁通(仙台駅東口交差点)～榴ヶ岡駅付近

**指 標** コミュニティサイクル年間利用回数【+】

選定理由：都心内の移動を担うコミュニティサイクルの利用状況を確認する。

コミュニティサイクル年間利用回数は増加しており、望ましい方向に進んでいる

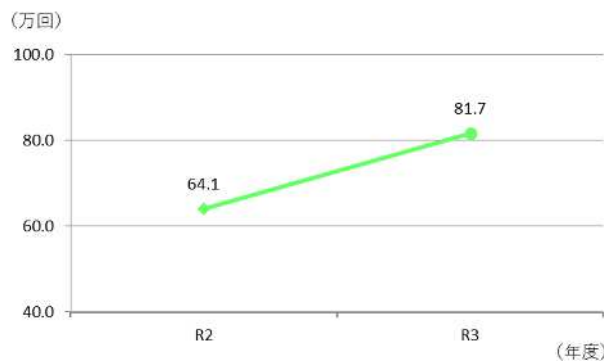


図 16 コミュニティサイクル年間利用回数の推移

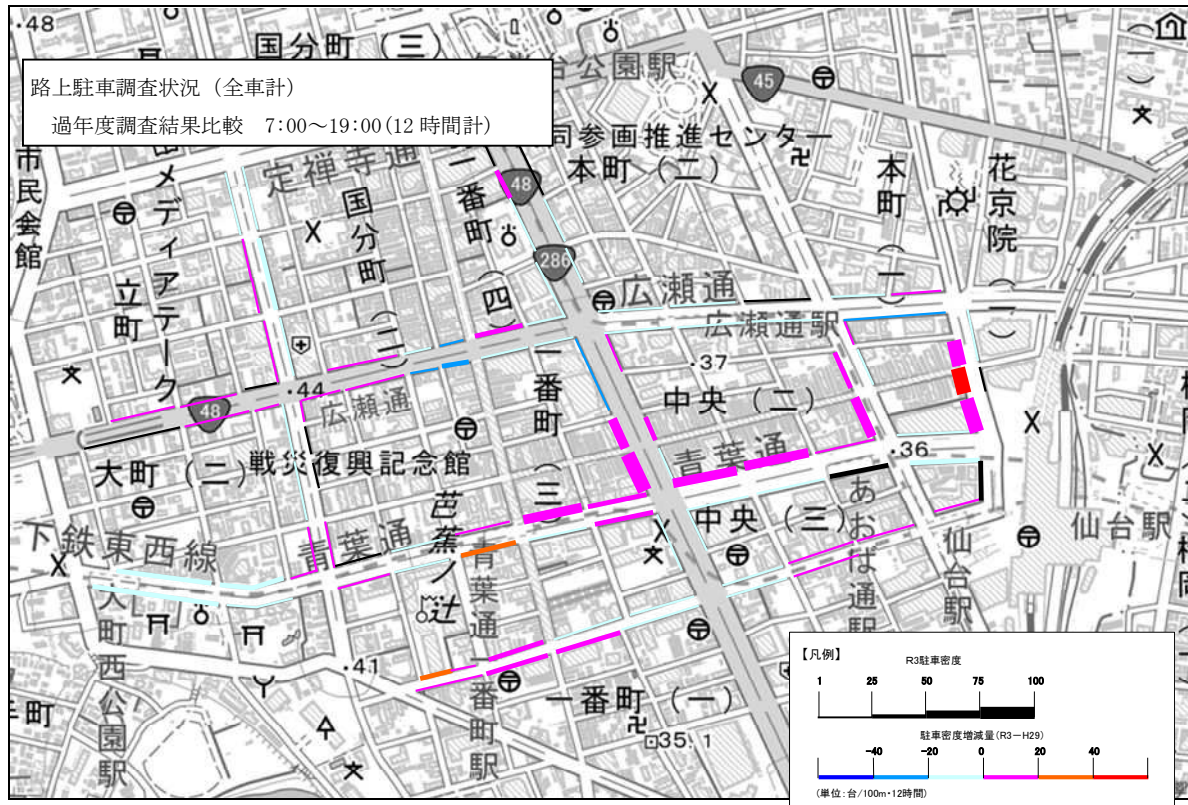
資料：㈱ドコモ・バイクシェア資料より作成

## 2) 多様な交通が安全・安心して共存するまちの交通環境づくり

### 指標 路上駐車状況【一】

選定理由：都心内の道路空間（車道）の安全性が確保されているかを確認する。

青葉通、南町通、駅前通の駐車密度は、増加しているが、その他の路線では減少している。全路線では約6%の減少となっており、望ましい方向に進んでいる。



路線No.	調査路線名	調査路線名 延長※1 (m)	令和3年度		平成29年度		増減量	
			台数※2	密度※3	台数	密度	台数	密度
1	広瀬通	2,651	295	11.1	400	20.1	-105	-9.0
2	青葉通	2,465	649	26.3	615	24.9	34	1.4
3	南町通	1,635	282	17.2	239	14.6	43	2.6
4	駅前通	334	154	46.1	133	39.8	21	6.3
5	愛宕上杉通	560	98	17.5	134	23.9	-36	-6.4
6	東二番町通	1,510	223	14.8	277	18.3	-54	-3.5
7	晩翠通	1,508	88	5.8	115	7.6	-27	-1.8
全路線		10,663	1,789	16.8	1,913	17.9	-124 (6.5%減)	-1.1 (6.3%減)

図 17 路上駐車台数密度増減量（令和3年度—平成29年度）

資料：道路交通等現況調査（仙台市交通政策課）より

※1：調査路線延長は、道路両側を調査対象としていることから実際の道路延長と異なる

※2：「台数」は12時間の路上駐車台数である（台/12時間）

※3：「密度」は12時間の路上駐車密度であり、100mあたりの路上駐車台数を示す（台/100m・12時間）

### 方針3 多様な都市活動を支える交通政策の推進

#### (1) 新技術等を活用した交通システムの促進

##### 指 標 新技術を活用した実証実験の実施件数【+】

選定理由：都市交通の向上のための取組みとして、新技術を活用した実証実験の実施状況を確認する。

令和3年度からの主な新技術の実施状況は、以下の通り。

##### ■ TOHOKU MaaS

実施主体：東日本旅客鉄道株式会社、宮城県、仙台市

実施期間：・ TOHOKU MaaS 仙台 trial(令和2年2月1日～29日)

・ TOHOKU MaaS 仙台・宮城 trial(令和2年9月1日～11月30日)

・ 東北デスティネーションキャンペーンにおける TOHOKU MaaS 展開  
(令和3年4月1日～9月30日)

・ TOHOKU MaaS 社会実装(令和4年4月1日～)

##### 【概要】

東北デスティネーションキャンペーン(以下「東北DC」)における東北6県での観光型 MaaS の展開に向け、令和2年から仙台エリアを中心に2回の実証実験を実施した。令和3年4月から9月までの東北DCにおける展開を経て、令和4年4月1日より社会実装し、継続してサービスを提供している。



図 18 観光型 MaaS の利用イメージ

出展：東日本旅客鉄道株式会社記者発表資料



## ■仙台 MaaS

実施主体：仙台市

実施期間：令和3年10月30日～

### 【概要】

杜の都仙台のまちの魅力を高め、賑わいや活力にあふれた元気なまちの実現を目指し、令和3年10月より、スモールスタートとして「まちの賑わい創出」を重視したサービスを中心に提供を開始している。認知度および利用者増加の取組みとして、「地下鉄一日乗車券デジタル版実証実験」(令和4年9月30日～10月2日)や「仙台 MaaS×ラプラスデジタルスタンプラリー」(令和4年10月8日～令和5年1月7日)を実施。



図 19 仙台 MaaS のサービスについて

出展：まちづくり政策局プロジェクト推進課作成資料



図 20・21 取組み内容(左：地下鉄一日乗車券デジタル版実証実験、  
右：仙台 MaaS×ラプラスデジタルスタンプラリー)

## ■仙台駅東口における賑わい・モビリティ・物流が共存する道路空間の社会実験

実施主体：仙台駅東まちづくり協議会

実施期間：令和3年11月より順次実施

### 【概要】

東北の玄関口として重要な交通結節点であることから、広域的な交流起点である仙台駅を起点とした、下記の新モビリティ等を活用した周辺エリアへの回遊性向上について効果検証を行った。

#### ①次世代モビリティ共同ポート(令和3年11月26日～令和5年3月末まで予定)

道路内に、シェアサイクル、電動キックボード等の各モビリティの乗り換え拠点を設置することを旨とし、候補地の選定、道路の幅員、構造、併設する機能、運営に係る費用等を検証。

#### ②電動キックボード(令和4年5月26日～令和5年10月31日)

宮城野通にはバス路線が無く広幅員道路である事から、南北および東西方向の移動手段の検討として電動キックボードの導入のための実証実験を実施。

#### ③AI自動走行車いす(都度実施し、令和4年11月まで予定)

他都市の事例調査、走行ルートや調査項目の検討、機体に備え付けたカメラによるAIデータの構築を行い、安全に選定理由地まで到達できるかどうか走行実験を実施。

#### ④AIカメラによる調査(令和3年11月26日～令和5年3月末まで予定)

AIカメラを共同ポートに隣接するビルに設置し、歩道および自転車道を通行した歩行者数、自転車通行台数について定点撮影し分析を実施。

### 仙台駅東地区における賑わい・モビリティ・物流が共存する道路空間の社会実験

仙台駅東口から楽天生命パーク宮城等へつながる宮城野通において、広幅員の道路空間をフル活用し、「賑わい・モビリティ・物流」の複数種類のモビリティが同時に混在したときの走行安全性や利便性向上支援策を検証(令和3年11月～)

**○実験主体:** 仙台市(仙台駅東まちづくり協議会)



設置場所: (R4・5・26)

次世代モビリティ共同ポートの設置状況

道路政策ビジョン2040

賑わい

モビリティ

物流

実験メニュー

キッズカー

電動キックボード

電動アシスト自転車

自動走行車いす

踏切カーシェア

スマートロッカー

仙台駅東まちづくり協議会    株式会社    株式会社    東北福祉大学    株式会社    株式会社

次世代モビリティ共同ポートを設置し、AIカメラによる人流分析、アンケート等による活用ニーズ把握、運営体制の検討等を実施

**○今後のスケジュール**

- ~令和4年 5月末 : モビリティ共同ポート及びスマートロッカーの設置、各モビリティの走行実験を開始
- 令和4年 7月頃 : 自動走行車いす走行実験(R4①)
- 令和4年 9月頃 : カメラ設置等によるモビリティ混在時の走行安全性の検証
- 令和4年11月頃 : 自動走行車いす走行実験(R4②)
- 令和5年 2月末 : 社会実験報告書の提出 ※随時、利用者へのアンケート等を実施

図 22 仙台駅東口における実験メニューの内容

出展：国土交通省資料

(2) 活発な都市経済・広域的な交流を支える交通環境の形成

指 標 主要渋滞箇所数【一】

選定理由：経済的な損失を生む交通渋滞の発生状況を確認する。

主要渋滞箇所(仙台市内は令和3年度時点で120箇所：宮城県渋滞対策連絡協議会)は、ETC2.0プローブデータによる速度モニタリング(通常は4月～9月が対象)を継続的に行い、下記解除フローを経て解除となるが、令和2年度および令和3年度については、緊急事態宣言などのコロナ事態下による影響を考慮してモニタリングすることとし、解除候補箇所は該当なしとなっている。

なお、令和4年度第1回宮城県渋滞対策連絡協議会(令和4年7月29日開催)にて、令和4年度より従来のモニタリングに戻す方針に転換することが了承されている。

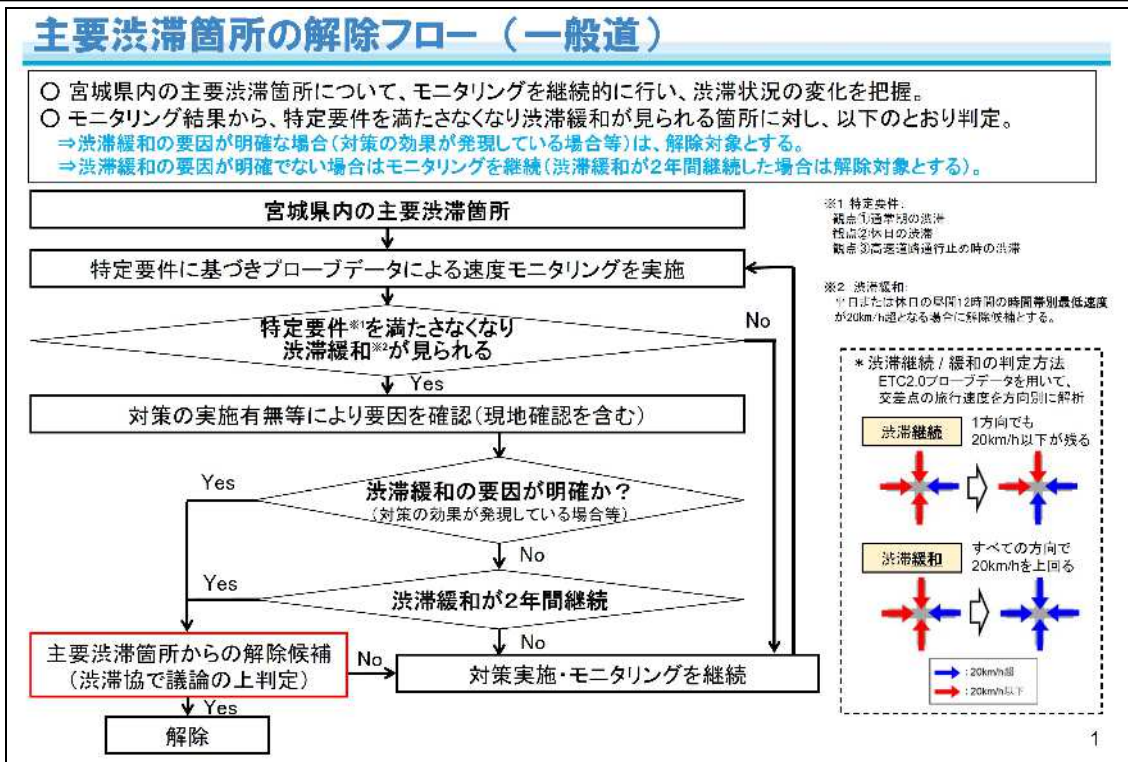


図 23 主要渋滞箇所の解除フロー（一般道）

資料：宮城県渋滞対策連絡協議会資料より



指標

都市計画道路の整備率【+】

選定理由：都市の骨格を形成する都市計画道路の整備状況を確認する。

都市計画道路の整備率は、令和2年度と同じく85.8%で推移しているが、令和3年度においては、新たに郡山折立線の郡山工区及び青葉山工区、宮沢根白石線の南光台工区の3区間について事業着手。〔整備済延長：369.39km、計画延長：430.40km〕

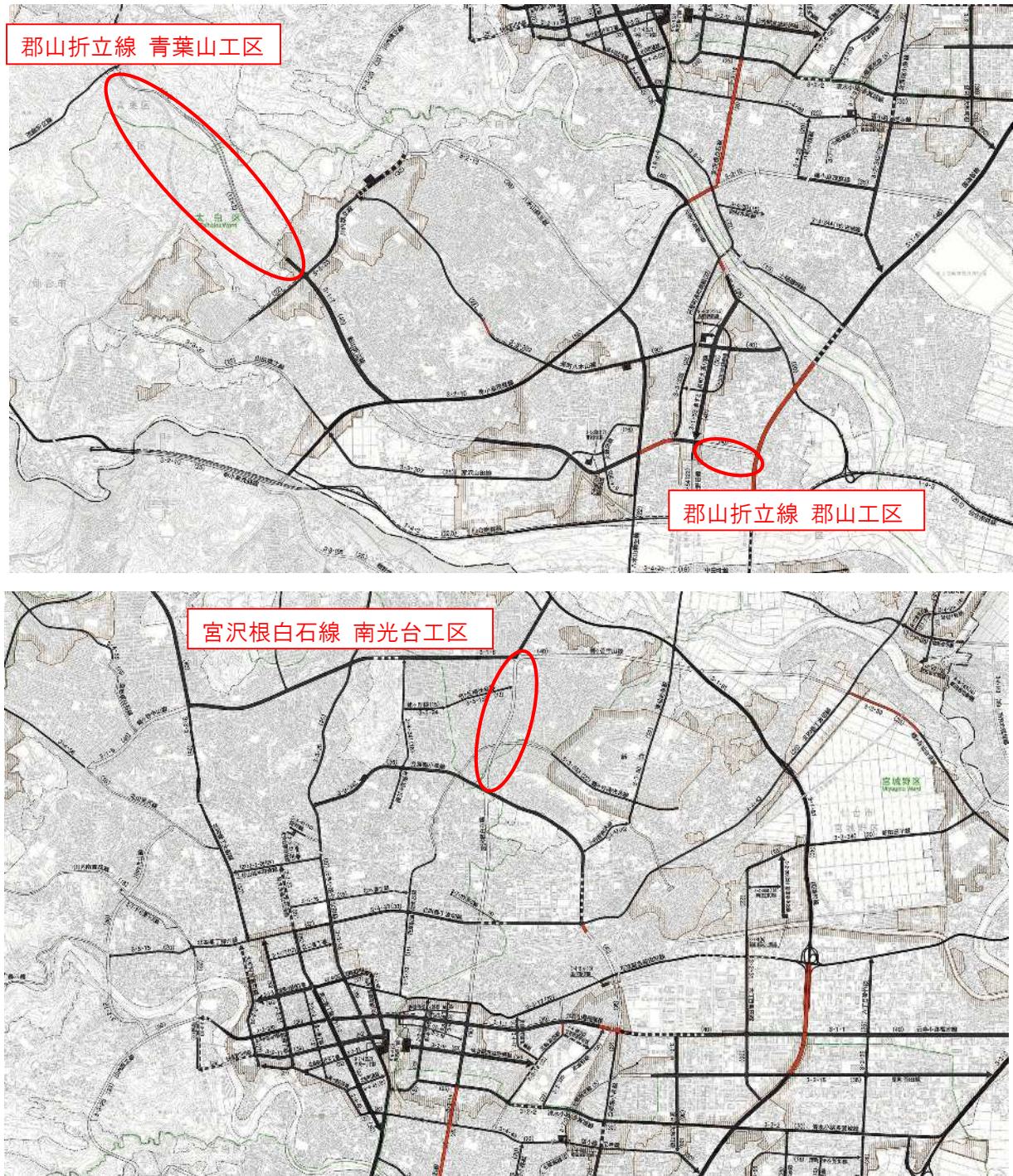


図24 都市計画道路位置図([上]:郡山折立線、[下]:宮沢根白石線)



指 標

都心部の交通量比率（現況都心部交通量／H6年度都心部交通量）【一】

選定理由：都心部の交通量の減少により、通過交通が抑制されているかを確認する。

都心部の交差点交通量は、経年比較の初年度である平成6年度から毎回減少傾向にある。

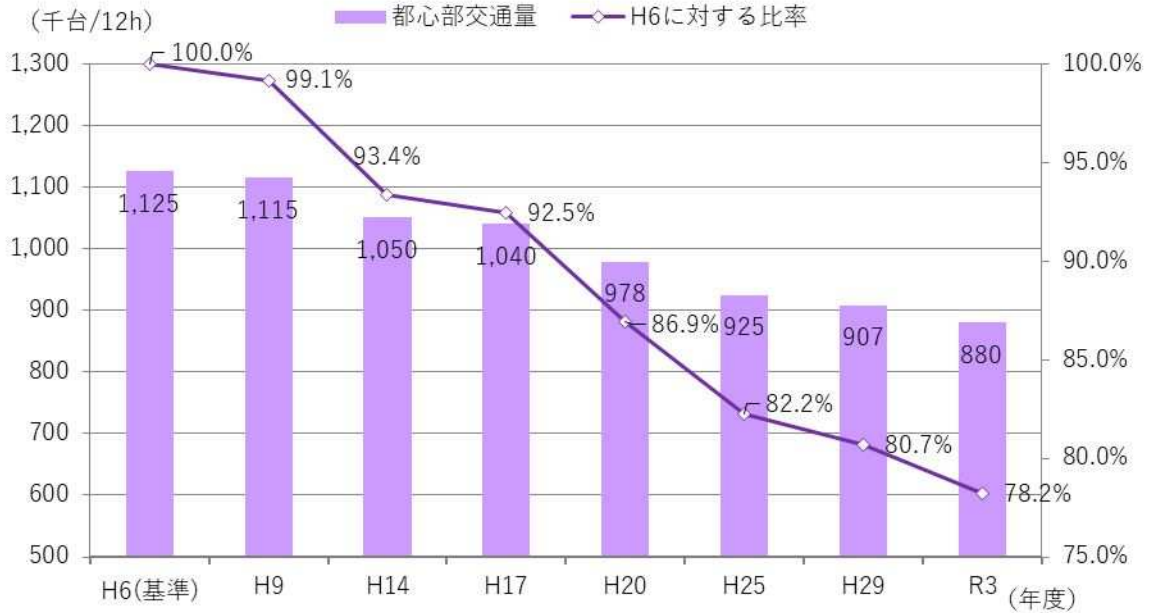


図 25 都心部の交通量比率の推移(平成 29 年度—令和 3 年度)

資料：道路交通等現況調査（仙台市交通政策課）より作成

※都心部交通量は、平成6年度から継続して調査を実施している都心部の交差点(24箇所)の交通量の合計。

**指 標** 仙台駅新幹線利用者数【+】

選定理由：広域交通ネットワークとして、新幹線によるアクセス状況を確認する。

仙台駅新幹線利用者数は、増加しており、望ましい方向に進んでいる。

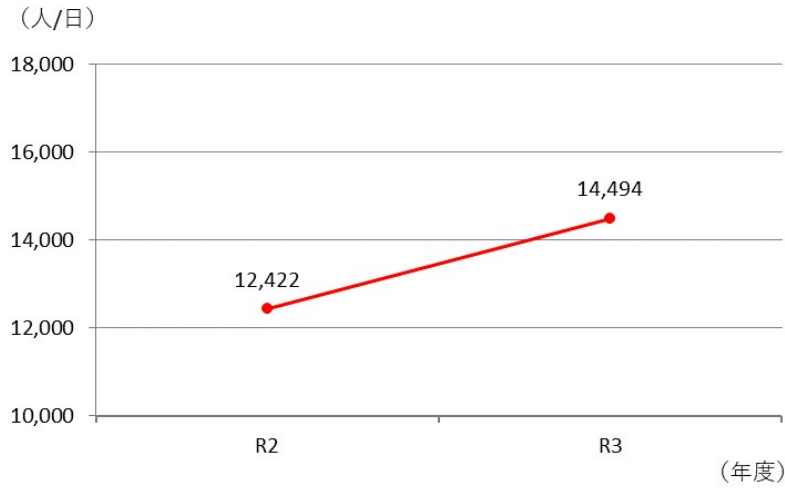


図 26 仙台駅新幹線利用者数の推移

資料：東日本旅客鉄道株資料より作成

※仙台駅における新幹線の1日あたり乗車人員

**指 標** 空港利用者数【+】

選定理由：広域交通ネットワークとして、航空機によるアクセス状況を確認する。

仙台空港利用者数は、増加しており、望ましい方向に進んでいる。

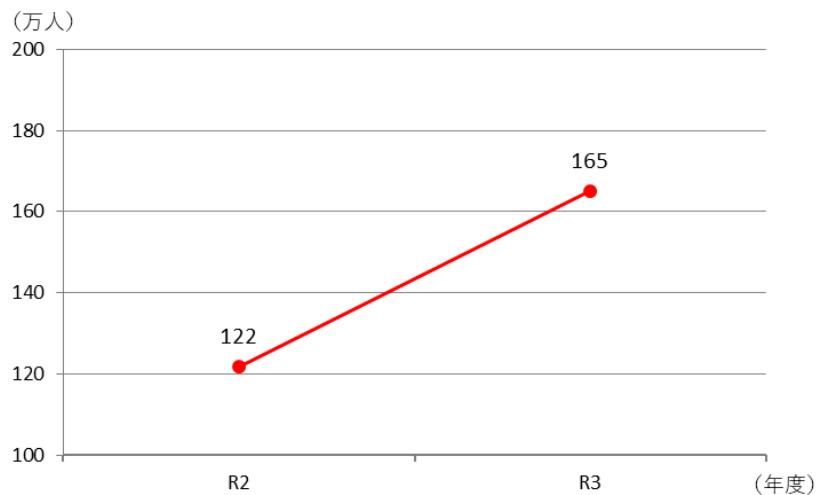


図 27 仙台空港利用者数の推移

資料：仙台市観光統計基礎データ（仙台市観光課）より作成

※仙台空港発着の国内線・国際線の年間乗降客数

※国際線にはチャーター便含む

**指 標** 高速バスの行先別便数【+】

選定理由：広域交通ネットワークとして、高速バスの広域ネットワーク状況を確認する。

仙台駅周辺を発着する高速バスの行先別便数は、平日・休日ともにほぼ横ばいである。

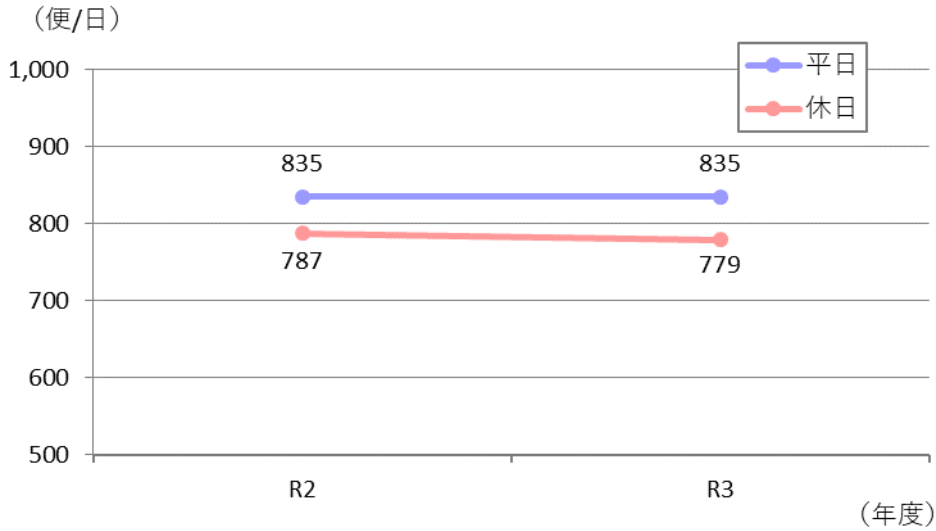


図 28 仙台駅周辺を発着する高速バス便数の推移

資料：宮城県バス協会資料より作成

※各年 3 月における仙台駅周辺を発着する高速バス便数の合計

**指 標** るーぷる仙台利用者数【+】

選定理由：市内の観光地までの主要なアクセス手段として、観光シティループバスの利用状況を確認する。

るーぷる仙台年間利用者数は、増加しており、望ましい方向に進んでいる。

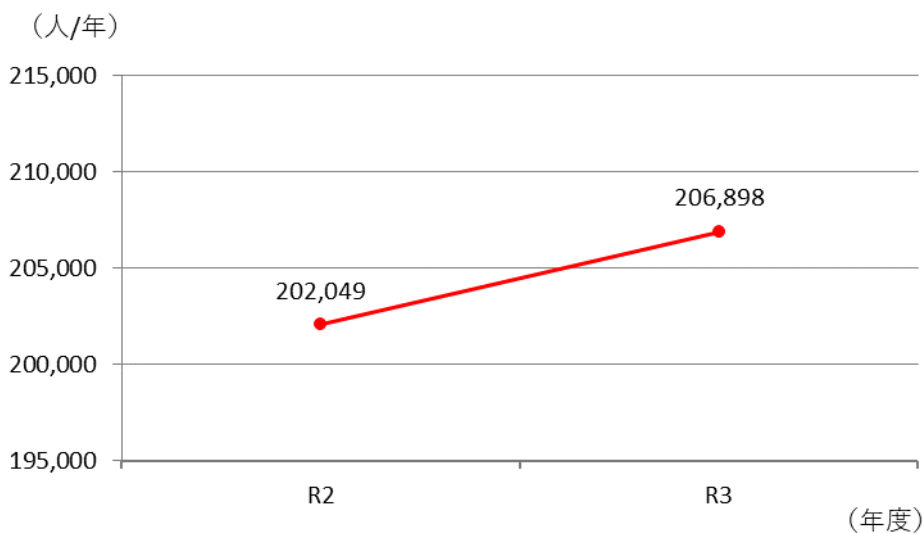


図 29 るーぷる仙台利用者数の推移

資料：仙台市観光統計基礎データ（仙台市観光課）より作成

### (3) 安全・安心な交通環境の形成

#### 指標 市内の交通事故件数【一】

選定理由：市内の移動において、安全性が高まっているかを確認する。

市内の交通事故件数は、望ましい方向は減少であるが、令和2年度と比較し増加している。

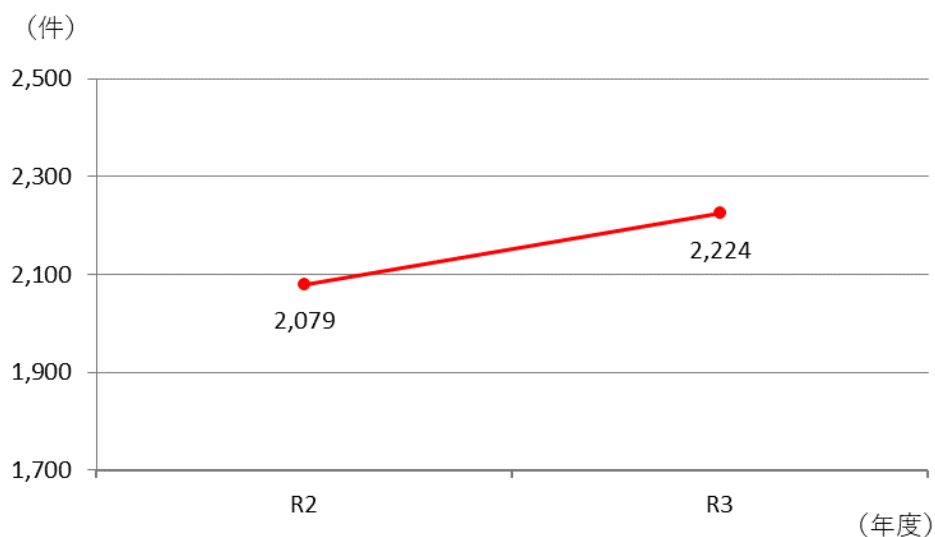


図 30 市内の交通事故件数の推移

資料：宮城県警察本部資料より作成

#### 指標 市内の自転車事故件数の推移【一】

選定理由：自転車の移動において、安全性が高まっているかを確認する。

市内の自転車事故件数は、減少しており、望ましい方向に進んでいる。

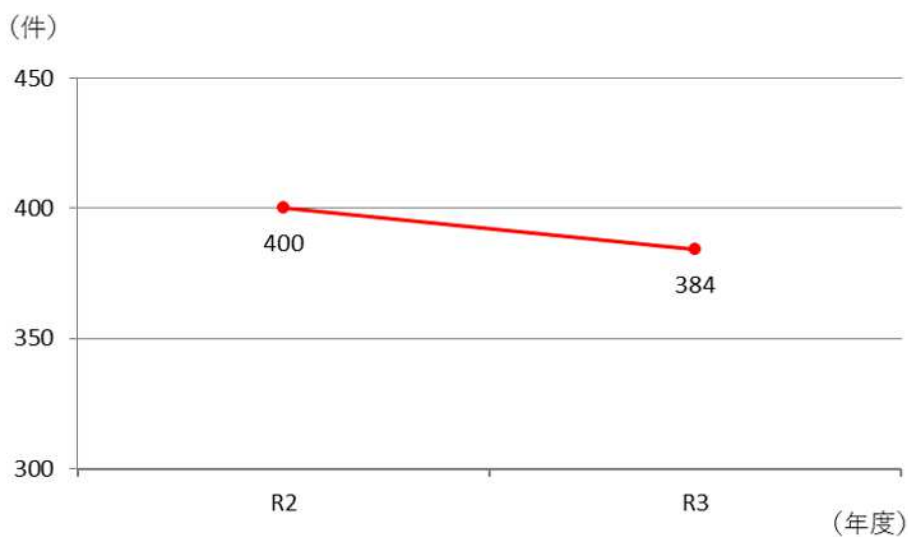


図 31 自転車事故件数の推移

資料：宮城県警察本部資料より作成

**指 標** 歩道のバリアフリー化率【+】

選定理由：移動の円滑化及び安全、安心な交通環境に寄与するバリアフリー化の推進状況を確認する。

都心部における歩道のバリアフリー化率は、増加しており、望ましい方向に進んでいる。

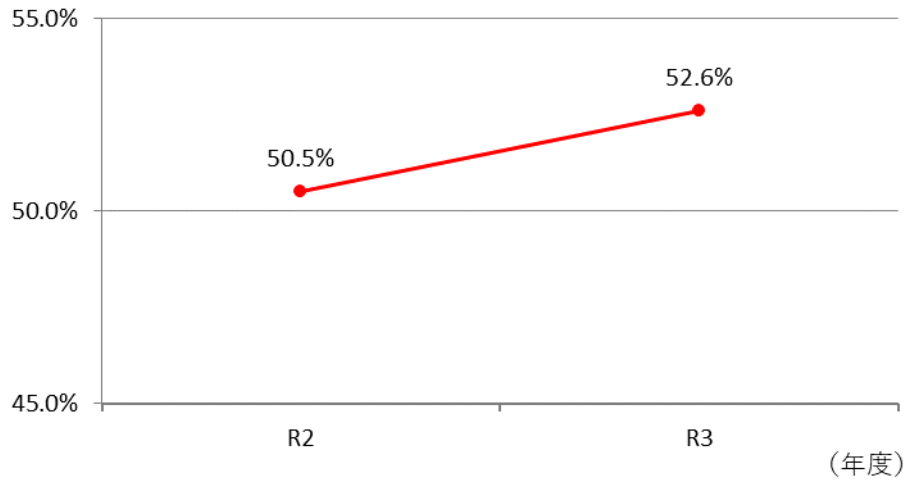


図 32 都心部における歩道のバリアフリー化率の推移

資料： 仙台市道路計画課資料より作成